

『教授とミミズのエコ生活』（三五館）

アフォーリズム風もくじ

起の章 ミミズコンポスト起動の巻

- 1 ●生活の自覚が実感と一致しないからこそ、自覚も実感もできる日々なのだが……
ミミズ生活のあらすじ
- 2 ■太陽を中心に考えるのが大地に根ざした世界観である……
太陽光発電
- 3 ■何事もモトを取るためには、モトの定義を考え直すことがポイントだが……
余剰購入電力量と節電衝動
- 4 ■自己犠牲への自己満足は、犠牲が満足されても満足を犠牲にしたがらない……
エコとエゴ
- 5 ■節約したのに余剰が生じたり、節約したから余剰が生じたり……
四つの効果
- 6 ■治療の必要なければ、増強と予防に励む——その心得、要治療かも……
前向き習慣と四つの効果
- 7 ■エコなアイテムは季節の循環をシミュレーションする機能がポイントらしい……
キャノワーム
- 8 ■ミミズが何千種類も蠢く現実で、幸福はただ一種類と決めつけるのはいかなものだろう……
堆肥生息型・シマミミズ
- 9 ■維持費ゼロで重宝するにはたえずゼロを維持しなければならない……
バイオ式
- 10 ■生き物で遊ぶには、生き物に遊ばせるのが一番である……
遊んだり交尾したり
- 11 ■見ただけで敵味方を判別できる能力そのものが、本人にとって敵かもしれないし味方かもしれないし……
堆肥の美
- 12 ■排泄の快感は満腹の安堵で裏付けられる必要がある……／満腹の快感は排泄の安堵で表張りされることが急務である……
液肥の趣
- 13 ■甲殻から粘液へ興味移ったからといって、クリーチャーオタクがもと硬派だったとは限らない……
ミミズ持ち帰りの秘策
- 14 ■水平的に順調であればあるほど、垂直方向には理論通りにならず……
動物愛護的ミミズ飼育
- 15 ■無目的な密集ほど濃密な理由を秘めたものはない……
液肥トレイの謎

- 16■雨降って地固まるのは、雨吸って地耕すものたちあってこそである……
雨後のスクワーム
- 17■締切は無限に引き延ばせるからこそ、無限の拘束力を持ちうる……
ミミズ拾い中毒症
- 18■自殺的な脱走ほど定住への執着を露わにするものはない……
脱走ミミズ団子
- 19■時間差でかぶれや蕁麻疹をお見舞いしても、捕食者からわが身を助ける役には立つまいに……
ミミズの秘密兵器
- 20■栄養価で勝ったからといって、幸福度で勝負できるとは限らない……
カップ麺汁に完敗
- 21■サプリメントが主食になりうるように、堆肥が肉体になることもある……
ミミズサプリメント

承の章 予兆と危機と絶滅の巻

- 22■邪悪そうな顔と凶悪そうな顔は全然違うが、受ける印象は同じである……
アメリカミズアブの猛威
- 23■人が最も謙虚になれるのは、昆虫の猛威を目の当たりにしたときか……
ミズアブコンポストの可能性
- 24■繁殖は効率的であればあるほど目立たず、効率は繁殖的であればあるほどやかましい……
羽化率〇、一パーセント？
- 25■臭いからといって悪者だとは限らない……／食欲だからといって味方でないとは限らない……
ミズアブ益虫説
- 26■病原菌を駆除するにもフェアプレイというものがあったり……
サンドイッチ作戦！
- 27■破局の前夜はとくに平穏でもないが、例外的に平穏だったと思返される……
反・節制効果
- 28■食事の質によって生活の質を計ることはできるが、計る必要はない……
賞味期限切れ満床
- 29■天国と地獄が境を接することは決してない……／天国の意識と地獄の現実とはしょっちゅう隣り合わせだが……
片栗粉事件
- 30■沈黙に孤独が伴うとは限らないし、苦痛に絶叫が伴うことはめったにない……
静かなる絶滅
- 31■生と死の感触が違うのは、幸福と不幸の外観が似ているのと同様である……
ミミズセラピーとミミズ蒸し
- 32■生命のリセットはできても、リセットに生命を灯すのは至難である……
キャノワーム再開
- 33■色が同じでも、エロが同じとは限らないのだが……
ガミースマイルの蠱惑
- 34■分かちがたい全体であればあるほど、分けることを考えるべし……

攪拌作戦！ 中間挿入作戦！

35■極楽も地獄も天気予報の仕方は同じである……

ミミズ天気予報

36■悪玉が為したい善行よりも、善玉の遂げうる悪行のほうが、より偽善的である……

ミミズによる環境破壊!?

37■不確実を確かめないのは不実だし、確実を確かめてしまうと確執だし……

第二の大絶滅

38■なしですまされるかどうか、やってみることが必要だから必需品……

ペットロスのモラトリアム

39■現実逃避者の逃避先は、たいてい現実の中核である……

絶望的放置プレイ

40■大地が揺れているときに空が曇る必然性はないが、そう感じる必然性はあったり……

太陽光発電の衰退

41■予想通りの顛末も、予想通りに予想通りだったら大いに予想外だろうが……

アメリカミズアブ越冬

転の章 ミミズ系いよいよ室内進出の巻

42■確実な方法をとるよりも、予想できない手法を選ぶ方が、楽しむためには無難である……

ミミポット

43■幸先がよくないとは、よからぬ幸先がよいということである……

集団脱走体勢

44■心が揺れれば揺れるほど、不安の対象は揺るぎなく定まってゆく……

ポスト三・一の一のミミズ飼育へ

45■要領の悪さも要領を得ないままでは単なる頭の悪さか運の悪さ……

飼育ケース

46■予期せぬ別の何かの存在によって際立つ感じ、それが存在感である……

コバエ大発生

47■似たものどうしが引き合うのなら、似たことどうしは決して引き合うまい……

ハエとり棒、初殻散乱

48■原因追及が必ずしも報われるとは限らない、という達観はなおさら報われない……

自然熟成チーズ

49■どん底と有頂天は、予期と追憶において一致する……

キャノワーム大復調

50■自然界は律儀である……／臭いで告げ知らせれば形でも念押ししてくれる……

悪臭液肥と瘤々死骸

51■悪から我々が被る最大の損害は、悪を楽しんでしまったという罪悪感を強いられること……

ウジミサイル

52■経験から学ぶことはできない……／経験をいくら学んでも……

乳酸の錯誤

53■諦めるにはまだ早いときこそ、諦めてもすでに遅い……

ハーフ攪拌作戦

54■瑣末な楽しみの数が増えても虚しいだけ……／瑣末な楽しみの種類が増えれば充実の極致……

穴をめぐるミミズの個性

55■急変と安定の対照ほど、心を急速に和ませるものはないのかも……

液肥警報

56■破局は何回起こってもやはり破局である……

ゴキブリ効果？

57■破局は必ずしも劇的ではない、という認識はけっこう劇的である……

事実上の全滅

結の章 動揺から懺悔そして達観への巻

58■信頼していた相手に裏切られたとき、ほんとは自分の信頼に裏切られたのではないかと疑ってみよう……

大絶滅の価格暴落

59■危機から名案が生まれるとしても、危機に対する名案であるとは限らない……

地下作戦！

60■踏みしめた薄氷が薄ければ薄いほど、予想通りの楽勝として思い返される……

蘇生と活力茶

61■世の中に絶対安泰はない……／安泰の価値が絶対ではないから……

大蒸発

62■いつでもどこでも、動乱にまず真っ先に反応するのは、光である……

太陽光発電完全停止

63■天災にして天敵がはびこると、天災のとき天敵が消えるのと、どちらが忌々しいだろうか……

アメリカミズアブの消滅

64■不安のタネがつねに活況を呈するようでは、しょせん時事的な人生にすぎまいが……

ミミポット四機整列

65■大激変に飽きたからといって、慣れたとは限らないし……／慣れてなくなつて、白けるものは白けるし……

絶滅成分遍在

66■生命は偶然の産物だからこそ、美しくてはかなくて尊くていじらしくてとるにたらないもの……

カオス系としてのミミズ

67■命に親しめば親しむほど、命が親しんでくれるとは限らない……

室内原子炉

68■軽減により余剰な節約をもたらす趣味のゆくえは……趣味的な節約式軽減風余剰……

四効果の変転

69■人生、趣味色が濃ければ濃いほど詐欺被害に無縁である……

ミミズ詐欺への天然防御

70■危ないのか危なくないのかあやふやな状態が一番危ない……／という疑念がいちばん危なかったり……

ミミポットの明暗

71■死の覚悟と死の受容とは、酔って死ぬのと死に酔うのよりもかけ離れている……

絶滅覚悟ヨモギ設定

72■賭けられた死と弄ばれた死では、命の重さは同じでも重みがかなり違う……

マンゴーゼリーあわや惨劇

●「事実は小説よりも奇なり」は格言よりも奇なり……

——アンチクライマックスなあとがき